

# 多治見の川～笠原川を語る～

笠原町の主要河川である笠原川は、上水や産業用水として重要な役割を果たしてきました。土岐市鶴里町柿野にある三国山の北部を水源とし、滝呂町・大畑町を北西に向かって流れ、土岐川に合流します。「柿野から流れてくる川」ということで、柿野川とも呼ばれていました。



## 笠原川の普請（治水工事）

焼き物の生産が盛んになるにつれ、山から燃料用の薪が大量に伐採され、陶土や絵薬などが採掘された。山肌があらわになり、雨が降ると、削られた土砂が川へ流れ込んで川底にたまった。それが洪水の原因ともなるため、村々で費用を負担し、土砂流出を防ぐ治水工事をおこなった。

## 笠原鉄道と陶彩の径

昭和3年（1928）笠原鉄道が開通。陶磁器産業や町の発展に寄与したが、次第に利用が減少。昭和46年（1971）旅客輸送をとりやめ、昭和53年（1978）廃止となる。旧線路跡を遊歩道として整備した「陶彩の径」には、桜や紅葉が植えられ、四季を通じて景色を楽しめる。

## 川名と橋名

「平園」・「梅平」・「向島」・「方月」・「深山」など、橋や支流の川には、古い地名が付けられている。平園や向島などは、笠原の区名としても使われている。

## 雨乞いと水争い

天保8年（1837）は、田植之前から水が不足していた。そこで、村を挙げて川水に浸り身を清め、雨乞いの千度参りをしたという記録が残っている。  
文政4（1821）には、多治見村大畑郷（現在の大畑町）地内の井堰が、洪水により流出した。新しい井堰を笠原村本郷地内に建てなおすことを笠原村が承知しなかったため、大畑郷と水争いが起きた。下石村と多治見村脇郷（現在の平和町）の庄屋が仲裁に入ったという。

## 笠原川の源流・三国山

笠原川の水源。岐阜県土岐市（昔の美濃国）・愛知県瀬戸市（昔の尾張国）・愛知県豊田市（昔の三河国）の三国にまたがることから名付けられた。



# 郷土のこについて調べるなら 郷土資料室へ

多治見市に関する資料や、皆様から寄せられた文書や記録などを整理し、保管しています。資料は皆様の調べ学習や研究などにもご利用いただけます。  
地域の歴史に関するご相談は、郷土資料室までどうぞ。皆様からの郷土資料のご寄贈や情報の提供もお待ちしております。

## 多治見市図書館郷土資料室

【場所】 多治見市豊岡町1-55 ヤマカまなびパーク4階 JR多治見駅より徒歩5分

【電話】 0572-23-3783

【開室時間】 火～土曜日 10時～17時（日・月・祝日・年末年始は休室） ※図書館とは開室日・時間が異なりますのでご注意ください